



## 衆院補選を経た国会はどこへ？

自民党の保有していた3議席が、まるまる立憲民主党に！ 東京・長崎・島根で行なわれた衆院補選の結果は、予想されていたとはいえ、やはりインパクトがありました。前後に発表された各社の世論調査で、政権交代を望む声が現政権維持派を大きく上回ったこともあいまって、与党とりわけ岸田首相は慌てふためき、野党は勢いづいた……いや、残念ながらそういうわけでもなさそうです。

与党はむしろ、早期解散が難しくなったことに、ひとまずホッとしたように見える。それが証拠に、焦点であるはずの政治資金規正法改正について自民党案は国民をバカにし切った「The ザル法」、公明党（島根の選挙応援ではあからさまに手を抜きました！）の案は例によって学会員向けの「The 言い訳」、そこに「なんとしても国民の信頼を回復せねば」という緊張感はまるで感じられません。そして岸田首相はと言うと、バイデン大統領によしよしと頭をナデてもらえたことで、すっかりご満悦の様子。その代わりに自衛隊をどうぞ米軍の事実上の配下にと、国会も憲法も無視して差し出してしまったことなど、きっと彼にとってはあの突然の政臨審出席と同レベルの決断に過ぎないのでしょうか。

一方、補選結果は、日本維新の会の野党第一党奪取の悲願を打ち砕くものでもありました。同党がこの屈辱を呑み込んで立民主導の野党連携に加わることは考えにくい。むしろ、万博実現（＝その後のカジノ利権）のためにも自民との連立を模索する可能性が高く、自民もそれを歓迎するはず。それでも立民は、野田元首相のような「危険分子」を抱えつつ、共産・れいわなどとの連携による政権交代へと、ブレることなく突き進めるでしょうか。

想えば私たち世田谷区民は、自民と維新が手を組んでかついだ若い区長候補を、大差で退けた。その良識を、今年中には実施されるであろう総選挙で、全国の有権者が発揮してくれることを願いたいものです。  
(梅丘1丁目・真藤 一彦)

### 日日好日

この処、映画館「ポレポレ東中野」には、とても感謝しています。すすめられて始めて行ったのが、二か月ほど前。ドキュメンタリー特集のようで「〇月〇日、区長になる女」という作品を上映していました。杉並区において由緒ある古木大樹を伐採してまで道路を作ろうとする区長。それに反対しようという女性を中心としたグループ。そこに新区長候補に名乗りを上げた外部の女性。ひたむきな選挙運動。観ているこちらの目頭が熱くなる挑戦のうえ、僅差で当選。よかった。

先日も、お礼を込めて「ポレポレ東中野」へ。

「戦雲（いくさふむ）」という作品。今の沖縄近辺の恐ろしい話。本島より台湾にかけての、宮古島、石垣島、与那国島に基地を作ろうとする自衛隊、米軍。それを阻止しようとする地元住民。太平洋戦争で一番苛酷な目に遭った人たち。繰り返される恐怖にこちらは手を拱くだけ？ 沖縄の出来事はより身近に思わねば。ウクライナもパレスチナも。

追伸：今、テレビに頻繁に出ている「やす子」という自衛隊服の女性芸人。

何ということもないのに、自衛隊を子どもに・家庭になじまそうとしているのか？

ああ、軍隊・軍人は嫌だ。戦争はイヤダ。

そういうドラマがなさすぎる。  
(梅丘1丁目・湯沢 勉)



～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、

「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～

+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++

# 平和といのちと人権を！5.3 憲法大集会

有明防災公園で開かれた第10回憲法集会に代田九条の会3人で行って来ました。電車、駅から人でいっぱい。3万2000人が参加（主催者発表）。風が強かったのですが、お天気に恵まれました。

オープニングの古謝美佐子さんの平和の願いのメロディー。13時から主催者の小田川 義和さんの開会あいさつ、メインスピーチの伊藤 真・弁護士は、「私たちは、戦争しない国として憲法に守られてきました。私たちが今度は憲法を守る役割を果たさなければなりません」と。新外交イニシアティブの猿田 佐世・弁護士は「来年のこの集会には、きょうの参加者が一人ひとりが10代の人を誘って集まるよう、この1年頑張りましょう」と。実現できるか分かりませんが、忘れずにいたいと思います。

政党からは、立憲民主党の逢坂 誠二・代表代行、日本共産党の田村 智子・委員長、れいわ新選組の櫛渕 万里・共同代表、社民党の福島 瑞穂・党首が連帯のあいさつ。軍事一辺倒のアメリカといっしょの「戦争する国づくり」に断固反対し、武力で平和は守れない、憲法を守り、九条を生かした外交で、戦争させないことの大切さが訴えられました。

そして、市民連合、長尾 詩子さんは、ジェンダー平等の実現のために改憲させない、来る解散・総選挙でわたしたちの声を届ける国会議員をひとりでも多く国会にと訴えました。各分野からは、福島原発告訴団の武藤 類子・団長（地震と原発）、移住者と連帯する全国ネットワークの山岸 素子・事務局長（外国人の人権）、辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議の高里 鈴代・共同代表（沖縄課題）、コネクト・ヒロシマの大内田 紀子・代表（核兵器課題）、北海道パレスチナ医療奉仕団の猫塚 義夫・団長（パレスチナ問題）のリーディングがありました。みなさんの訴えが胸に迫りました。

途中プラカードアピールも。最後に戦争をさせない1000人委員会の染 裕之さんより行動提起、「5.3 憲法集会みんなで歌う合唱隊」の歌でエンディング、パレード出発です。

本当に大勢の参加者に元気をもらいます。ただ、国会では問題山積、恐ろしい法案がどんどん通ってしまいます。裏金問題の真相も未解明。さようなら自民党を合言葉に微力ながら行動していきたいです。

（代田4丁目・萱野 幸子）

全国では、大阪5000人、兵庫5000人、茨城800人、宮城700人など、全国で、「戦争する国に戻させない」、「憲法生かす政治を取り戻そう」と、集会が開かれました。



## 集会等の紹介

5月18日（土）13:30～ 憲法記念日によせて

お話 高田 敏江 さん（俳優）

講演 「戦争できる国へと突き進む岸田内閣」

原 希世巳 氏（弁護士・渋谷共同法律事務所）

場所：東演パラータ 世田谷区代田1-30-13

主催：代田・九条の会 資料代：500円

5月23日（木）18:00～19:00過ぎ

アメリカはジェノサイドに加担するな！ラファ侵攻を止めろ！

5・23 アメリカ大使館前行動

場所：住友不動産虎ノ門タワー（旧JTビル）前（地下鉄・虎ノ門駅下車）

呼びかけ：パレスチナに平和を！緊急行動